



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

14号

平成30年9月8日

平成30年7月豪雨

この度の豪雨災害で亡くなられた方には謹んで哀悼の意を表するとともに被災された方には心よりお見舞い申し上げます。

広島県の歯科診療所も床上浸水などの被害で30件以上が診療できない状態が続いているそうです。安芸津で開業している同級生の歯科医院の駐車場は、車が天井まで水に浸かっていました。また、歯科診療室は1m位浸水してしま

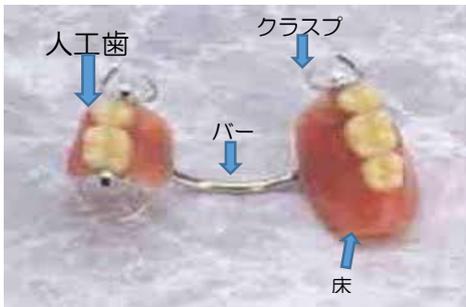


した。これでは水が退いても電気系統などのトラブルが起きて診療はできない状態です。もし、かかりつけの歯科医院が被害にあわれていて受診ができない場合は、広島県歯科医師会や各地域の歯科医師会に相談してください。

当院歯科は、災害当初、歯科訪問診療時に断水や道路事情の影響を受けました。今では若干道路事情に影響を受ける地域もありますが、幸いにも以前と変わらない診療を続けることができています。

義歯（入れ歯） その2

今回は、義歯（入れ歯）の歴史について説明をしました。今回は、入れ歯の種類、特に局部床義歯（部分入れ歯）について説明します。



人の歯は、上顎・下顎各14本（親知らずを除く）あります。その内1本でも抜けると取り外しができる入れ歯を作ることができます。これがいわゆる“部分入れ歯”と言われるものです。

左の写真のような構造をしていますが残っている歯の状態により“部分入れ歯”の形は異なります構造は変わ

ります。

局部床義歯の構成は

人工歯：人の歯のような色と形にしたプラスチックか陶材でできたものです。

床：歯茎に似せたピンク色のプラスチックで粘膜に直接あたる部分です。

クラスプ：いわゆる“バンド”と言われる歯に直接掛かっている装置で、入れ歯を安定させる役割を持っています。

バー：床と床をつなぐ金属製で上あごや下の歯のべろ側の金属部分です。

基本的な構造はこのようなものですが義歯の構造は実はもう少し複雑に出来ています。

詳しく知りたい方は歯科スタッフまでお尋ね下さい。

文責 診療部長 占部秀徳